

(仮称)奈良ICへのアクセス整備と交通結節点機能等の強化

～ 観光立国実現に向けた基盤整備 ～

平成30年7月

【担当省庁】 国土交通省

○整備事業の推進に、多大なご支援をいただき、
平成31年度の鉄道高架化工事（仮線工事）着手に
目処が立ったこと、心より感謝（前年度比1.40倍）



【奈良県における取組】

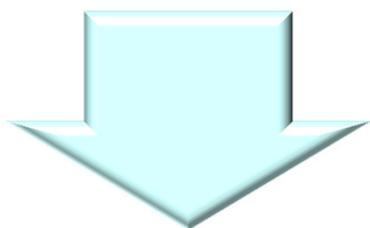
- ・住民の積極的なご協力により、仮線工事に必要な買収地の約60%を確保
(平成30年6月末時点)
- ・残る仮線用地の取得に向け、集中的に用地交渉を実施

○(都)西九条佐保線

- ・京奈和自動車道と一体的な整備
- ・京奈和自動車道（仮称）奈良ICへの唯一の1次アクセス道路
- ・奈良市南部のまちづくりの骨格となる道路

○鉄道高架化と新駅設置

- ・県内初のICと駅との交通結節点
- ・鉄道による地域分断の解消
- ・踏切除却による安全性向上



インバウンド等の受け入れ環境に対する取組

- 宿泊機能の充実
- 魅力ある拠点施設等の充実・強化

■我が国の観光立国の実現に大きく貢献

- ・新駅を核とした新たな観光ルートの創出と、（仮称）奈良ICへのアクセスの構築により、国を代表する世界遺産等を結ぶ広域的な周遊観光への発展が期待出来る。

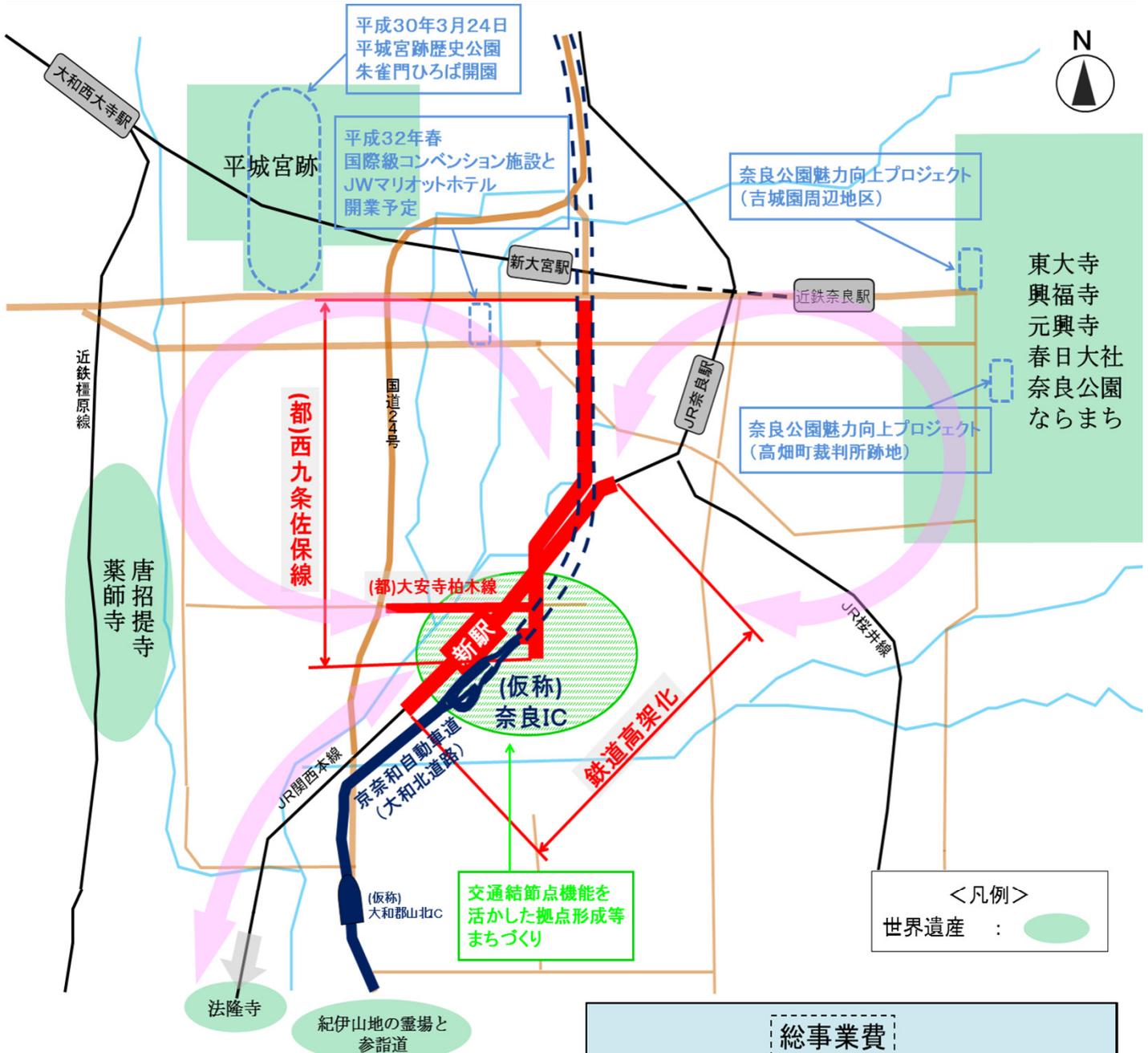
■都市のコンパクト&ネットワーク化

- ・ICと新駅の交通結節点機能を活かした拠点形成等によるまちづくり

国にお願いすること

■整備促進に必要な予算確保

- ・整備事業の推進に向け、引き続き十分な**予算の確保**
- ・交通結節点等地域の活性化を図るため、まちづくりに資する**道路整備予算の確保**



総事業費	
【奈良IC周辺整備に係る概算事業費】	
・西九条佐保線整備等	約250億円
・JR関西本線高架化	約130億円
・新駅設置	約20億円
・駅前広場整備	約18億円
総事業費	約418億円

【県担当部局】 まちづくり推進局 地域デザイン推進課